

# GCL NEWSLETTER 第12号 (2014.09)



## GCL 2014 冬 講義紹介

## GCL 合宿

# ■ GCL 2014 年度冬学期講義紹介

2014 年度冬学期にも、GCL ではさまざまな魅力的な講義が開講されます。

ここでは、それらの講義のうち一部を紹介します。

## ●グローバル・クリエイティブリーダー講義Ⅱ Introduction to Management

1. 担当講師：富家 友道・朴 英元

2. 開講日：2014 年 10 月 2 日(木)6 限(18:30-20:00)

3. 講義場所：工学部 3 号館 1F 電気系セミナー室 2・3 (部屋番号 :113・114)

4. 概要：

リーマンショック以後の世界の状況や足下で進む科学の進歩を認識し、今後社会のリーダーとして取り組むことになる我々の基本的な課題とその解決に必要な視点を理解することを目指す。その過程で日本が世界を

リーダーする上で必要なプリンシプルをどのように組み立てるかも併せて理解する。

5. 担当講師からのメッセージ：

富家 友道 (プロティビティ LLC エグゼクティブプリンシパル)

ウクライナや中東混乱、世界経済の低迷など世界は一層の混迷の中に突入している。この混迷を打ち破るプロジェクトをマネジメントするには強固なプリンシプルをもつことが必要である。全員参加での議論で自らのプリンシプルを作りましょう。



東京大学 ソーシャル ICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム  
Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)  
グローバル・クリエイティブリーダー講義Ⅱ  
**Introduction to Management**  
木曜日 18:30-20:00(10月2日開講)  
工3号館 1F 電気系セミナー室2・3  
担当教員：富家 友道, 朴 英元  
リーマンショック以後の世界の状況や足下で進む科学の進歩を認識し、今後社会のリーダーとして取り組むことになる我々の基本的な課題とその解決に必要な視点を理解することを目指す。その過程で日本が世界をリーダーする上で必要なプリンシプルをどのように組み立てるかも併せて理解する。



東京大学 ソーシャル ICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム  
Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)  
グローバル・クリエイティブリーダー講義Ⅶ  
**The 官僚**  
日本をデザインする、  
経済・社会をデザインする  
金曜日 18:30-20:00 (10月3日開講)  
工2号館 4F 246講義室  
担当講師：総務省 情報通信国際戦略局 局長 鈴木 茂樹  
経済産業省 審議官 (経済産業政策局担当) 松永 明

## ●グローバル・クリエイティブリーダー講義Ⅶ

### The 官僚 - この国を、社会・経済をデザインする -

1. 担当講師：

総務省 情報通信国際戦略局 局長 鈴木 茂樹

経済産業省 大臣官房審議官 (経済産業政策局担当)

松永 明

および各省庁を代表するリーダーのゲストスピーカー

によるオムニバス講義

2. 開講日 :2014 年 10 月 3 日 (金)6 限 (18:30-20:00)

3. 講義場所 :工学部 2 号館 4F 246 教室

4. テーマ：日本をデザインする、経済・社会をデザインする。

5. 趣旨：

技術の可能性・将来動向を良く知る理工系等の大学院生等に対して、その知見を元に日本の将来、社会・経済の在り方をデザインすることの必要性と可能性を伝えることにより、理工系等の知見・経験を踏まえて日本及び経済・社会をデザインすることに自ら取り組むことを通じた新たな能力発揮の分野を開拓するきっかけとすること。

6. 担当講師からのメッセージ：

東大生の皆さんは、研究開発を進めていく資質が高いことは間違いなくと思います。しかし、優れた技術でも、市場や社会で利用されなかったものは無数にあります。開発された技術は社会で使われてこそ意味があります。他方、ある技術を開発した場合、それは社会生活に大きな影響を与えます。その影響はプラスだけではなく、マイナスの影響もあります。自動車の発明は、人間の移動を自由にしましたが、事故の増加、環境への負荷等様々な社会的コストをもたらしているほか、我々の生活のあり方を大きく変えました。インターネットの普及が社会をどのように変えたか、想像してみてください。

このため、今後世界的なリーダーとなる方々には、単に研究開発に没頭するだけでは無く、その研究開発が、社会のあり方をどのような改善していくのかについて想像力を働かせるとともに、仮にマイナスのインパクトがあるなら、それを克服していくことを目指していただきたいと期待しています。本コースは、この

ような視点から、現在起きている諸問題と事例を基に議論します。国内外の制度を知り、問題発見解決能力、将来見通しの能力に磨きをかけ、さらには国際的な調整能力を身につけるための契機になることを目指します。

7. 講義形式、レポート等

講師による講義及び参加者との議論で構成する(講師によっては、異なる方式の可能性もある)。

コース終了時には、レポートの提出。(講師との議論を通じた講義への貢献も、加点要素として評価する。)レポートの課題は後日連絡するが、昨年度は以下の課題でレポートの提出を求めた。

(昨年度のレポート課題等)

○レポートの課題

これまでの講義及び教室でのディスカッションを踏まえ、下記の課題についてレポートを作成する。

・日本をデザインする、経済・社会をデザインするためには何が必要かについて、見解を述べる。

・これまでの講義で紹介した項目をより深掘りして検討したうえで、制度設計について自らの見解を記述する

・講義で紹介した以外の特定の経済・社会の課題について、それを解決するための制度設計の提案を行う

○レポートの枚数

A4 で 5 枚程度 (8,000 字程度)

注：一応の目安であり、この枚数より少なくても、多くても可。図表等を適宜挿入しても可

8. 日程・講師予定 (変更の可能性あり), 全 14 回:

第 1 回 10 月 3 日 (金) 18:30 ~ キックオフ

(10 月 10 日は休講)

第 2 回 10 月 17 日 (金) 18:30 ~ 経済産業省大臣官房審議官 松永明

第 3 回 10 月 24 日 (金) 18:30 ~ 総務省情報通信国際戦略局長 鈴木茂樹

第 4 回 10 月 31 日 (金) 18:30 ~ 厚生労働省政策統括官 今別府敏雄

第 5 回 11 月 7 日 (金) 18:30 ~ 内閣官房 IT 戦略本部参事官 市川類

第 6 回 11 月 14 日 (金) 18:30 ~

第 7 回 11 月 21 日 (金) 18:30 ~ 特許庁総務部制度審議室長 中野剛志

第 8 回 11 月 28 日 (金) 18:30 ~ 農林水産省農村政策部長 佐藤速水

第9回 12月5日(金) 18:30～ 株式会社地域経済活性化支援機構 保井俊之

第10回 12月12日(金) 18:30～内閣官房情報セキュリティ・副センター長 谷脇康彦

第11回 12月19日(金) 18:30～ 国家安全保障局次長 高見澤將林

第12回 1月9日(金) 18:30～ 前内閣官房宇宙審議官(P) 西本淳哉

第13回 1月23日(金) 18:30～

第14回 1月30日(金) 最終講義

※1月27日と2月6日は予備日

※10月10日と1月16日は休講

9. 特記事項：

講師の講義は、個人的な見解を含みます。組織を公式に代表して行うものではないことに留意してください。

講義へのパソコン、資料等の持込は自由とします。

のための企画の訓練としても活用してほしい。内容は話し合いで、柔軟に変更する。

6. 担当講師からのメッセージ：

新日鉄住金ソリューションズ株式会社 シニアテクニカルアドバイザー 大力 修

現在、世界は災害、環境、格差、経済などさまざまな危機に直面しています。これらを乗り切るためには、各種の専門を持ったプロフェッショナルたちのチームプレーが必要です。最も求められているのは分野、世代、国境を越えてチームを纏め上げていくリーダーです。リーディング大学院では実世界の問題に取り組むことでリーダーを育成し、また院生は自己の専門性に加え、他分野の専門家を理解尊敬し協力し合うことを学んで欲しいと期待しています。

## ●グローバル・クリエイティブリーダー講義Ⅷ トップリーダー論

1. 担当講師：岩野 和生, 大力 修

2. 開講日：2014年10月7日(火)6限(18:30-20:00)  
※ 講義日程は受講者と相談して柔軟に調整する。

3. 講義場所：工学部3号館 1F 電気系セミナー室 2・3 (部屋番号:113・114)

4. テーマ：異分野、異世代、異国の人と協力し社会に貢献するリーダーになろう

5. 概要：

GCLの目指すリーダーとは何か、そのリーダーを生み出すためには、GCLはどうあるべきかを受講生と講師で共に考える。まず意思決定の方法論を学び、さらに、社会の抱える問題とITの関連を議論する。ドクターコースで行う社会イノベーションプロジェクト

東京大学 ソーシャルICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム  
Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)

グローバル・クリエイティブリーダー講義Ⅷ  
**トップリーダー論**

火曜日 18:30-20:00(10月7日開講)  
工3号館 1F 電気系セミナー室2・3  
担当教員：**岩野 和生・大力 修**

GCLの目指すリーダーとは何か、そのリーダーを生み出すためには、GCLはどうあるべきかを受講生と講師で共に考える。まず意思決定の方法論を学び、さらに、社会の抱える問題とITの関連を議論する。ドクターコースで行う社会イノベーションプロジェクトのための企画の訓練としても活用してほしい。内容は話し合いで、柔軟に変更する。

## ●グローバル・クリエイティブリーダー講義Ⅹ 国際制度とソーシャルICT

1. 担当講師：池田 宏明・田中 正躬・岩垂 邦秀

2. 開講日：2014年10月8日(水)6限(18:30-20:00)

3. 講義場所：工学部3号館 1F 電気系セミナー室 2・3 (部屋番号：113・114)

4. 概要：

工学系の学生が、将来、技術の利用や普及に際し直面する、国際的な調整や問題の発見・解決、将来の見通しに関する能力にみがきをかけ、世界のリーダーとして活躍する資質を育成します。国際制度は、条約によるもの、地域によるもの、国によるもの、自主的な集まりによるものなど、技術や社会の急速な進展により多様で複雑な形態をなしています。

本コースでは、科学技術、経済社会、制度の関係性と変遷、それらと係わる次のようなケースを取り上げ、議論、検討します。

- ・アップルとサムスの知的財産権戦争
  - ・過去の電気通信の世界とインターネットの世界の類似性
  - ・"Suica" がなかったかもしれない？ = 危機に陥った日本発のICタグ技術
  - ・世界トップを走る日本の鉄道技術が輸出で苦勞する理由
- など
- なお、招待講師は、必要に応じて検討する。

5. 担当講師からのメッセージ：

皆さんは、技術的資質が高いことは間違いないと思います。しかし、開発した技術が他の技術より勝っていたとしても、市場や社会で利用されなかったら技術開発は無意味です。この問題を避けるためには、国際制度を知り、国際的な調整能力、問題発見解決能力、将来見通しの能力に磨きをかけなければなりません。本コースは、これらの視点から、現在起きている諸問題と事例を基に議論し、世界的なリーダーとなるため資質を育成することを目指しています。

6. 講義スケジュール：

第1回 10/08 なぜ国際標準、知財等、国際制度が重要か？

第2回 10/22 国際制度と産業の変遷

第3回 10/29 アップル対サムスン・スマートフォン事件(知財と標準の衝突:ケース1)

第4回 11/05 オレンジブック規格の独占禁止法違反問題(知財と標準の衝突:ケース2)

第5回 11/12 光ディスクの技術開発戦略と事業戦略(知財と標準の衝突:ケース3)

第6回 11/19 国際取引のルールと事業戦略

第7回 11/26 ICタグ(スイカ)と国際ルール

第8回 12/03 航空機事故と国際制度

第9回 12/10 社会インフラの輸出～電車、新幹線～

第10回 12/17 信頼を構築する制度～セキュリティ認証～

第11回 01/07 カラーマネジメントにおける問題と解決法

第12回 01/14 マルチメディアにおける標準標準化～JPEG、MPEG

第13回 01/21 社会インフラにおける標準～スマートグリッド～

第14回 01/28 デジタルテレビ等における問題と解決法

第15回 02/04 レポートの作成と発表、まとめ

ソーシャルICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム  
Graduate Program for Social ICT Global Creative Leaders (GCL)

グローバル・クリエイティブリーダー講義Ⅹ  
**国際制度と  
ソーシャルICT**

担当：池田 宏明・田中 正躬・岩垂 邦秀  
水曜日 18:30-20:00 (10月8日開講)  
工3号館 1F 電気系セミナー室2・3

10/08 なぜ国際標準、知財等 国際制度が重要か？  
10/22 国際制度と産業の変遷  
10/29 アップル対サムスン・スマートフォン事件(知財と標準の衝突:ケース1)  
11/05 オレンジブック規格の独占禁止法違反問題(知財と標準の衝突:ケース2)  
11/12 光ディスクの技術開発戦略と事業戦略(知財と標準の衝突:ケース3)  
11/19 国際取引のルールと事業戦略  
11/26 ICタグ(スイカ)と国際ルール  
12/03 航空機事故と国際制度  
12/10 社会インフラの輸出～電車、新幹線～  
12/17 信頼を構築する制度～セキュリティ認証～  
01/07 社会インフラにおける標準～スマートグリッド～  
01/14 マルチメディアにおける標準標準化～JPEG、MPEG  
01/21 カラーマネジメントにおける問題と解決法  
01/28 デジタルテレビ等における問題と解決法  
02/04 レポートの作成と発表、まとめ

# GCL Summer Camp



9月7日(日)、8日(月)に、GCLの合宿が行われました。当日の様子について、山本瑛美さん(教育学研究科M2)にレポートしてもらいました。

(以下、山本さんの執筆)

9月7日(日)と8日(月)の二日間にわたり、東京大学検見川セミナーハウスにてGCL Summer Camp in 2014が行われた。テーマは、「日本の『稼ぐ力』創出委員会など、政府が進められている議論から社会的課題を抽出し、ICTを基軸とした解決策を提案すること」。GCL生だけでなくRA、学内外プログラム担当者、GCL特任教員、指導教員の方々も参加され、白熱した議論がなされた。

## 1. 講演

Summer Camp最初のプログラムでは、社会技術研究開発センター・シニアフォロワーの奥和田久美氏が「ビッグデータによってもたらされる第4の科学、第4の産業革命」に関して、経済産業省経済産業大臣官房審議官の松永明氏が「日本の『稼ぐ力』の創出に向けて」というテーマでご講演下さった。知識社会となりつつある現在では価値を見出す能力が求められている事、中長期的視点で産官学が連携して今やるべきことを考えていく必要がある事などが指摘された。

## 2. グループワーク

講演後、コース生及びRAで構成された4つのグループに分かれ、各グループで具体的な社会的課題に焦点を絞り、それに対するICTを用いた解決案を話し合った。事前課題で各人が考えてきた課題及び解決案を基

に、グループのメンバーが自分の得意分野を活かしながらグループワークに参加した。

## 3. 懇親会、ショットガン・セッション

夕食は立食パーティーで、先生方や他学年の方々と交流できる貴重な機会となった。懇親会の終盤では7・8月のプレゼンコンペの表彰式も行われた。

懇親会後はGCL生及びRAの全員が1分間で自身の研究テーマを発表した。自分の研究に必要な分野の協力者募集の呼びかけがされるなど、「今後のコラボレーションの基盤を培う」というSummer Campの目的にも適う有意義な時間となった。

## 4. 発表

1日目の夜及び2日目の朝に仕上げを行った上で、各グループが議論の内容をスライド1枚にまとめて発表した。アビリティタンクを用いた障がい者と経済活動とのマッチングや、既存の施設等を利用した観光情報の発信及び健康状態管理ウェアラブルデバイスの併用による外国人旅行者の誘致、文脈や感情を考慮した翻訳ツールによる外国人労働者のコミュニケーション支援や、バーチャル・リアリティを用いた五感・感情の追体験と、個性あふれるアイデアが出された。奥和田氏をはじめとするGCLの指導教員の方々から質疑応答もあり、踏み込んだ意見も多く出された。全グループの発表後、経済産業省産業再生課長の河西康之氏からコメントをいただいた。様々な分野の学生が集まることで新たな可能性が広がることを、強く感じることができた2日間だった。



# ■ イベント告知

## ◆【注目イベント】12/6,7 Tea Time Hackathon

アプリやIT業界になんとか興味あるな〜という女子

バリバリコード書きます！という女子

アプリ製作・Webデザインに興味のある女子

IT分野などで一緒に頑張る仲間の欲しい女子

そんな女子に耳ヨリ情報！！

GCL主催のハッカソンイベントやります！

ハッカソン(Hackathon)とは、Hack(ハック)と

Marathon(マラソン)を組み合わせた造語で、さまざまな

知識や技術を持った人たちが集まり、短期・集中的にアイ

デアを出し合い、新たなアプリを作るイベントです。今回

は女子だけで楽しくおしゃれにわいわいアプリのチーム開

発を体験していただけます。

必要に応じた事前勉強会・超有名企業訪問も企画中のので、

初心者の方も大歓迎！

ぜひご参加ください！

### ■開催概要

【日時】2014年12月6日(土)～7日(日)

(※2日間のイベントです。両日共9:00-18:00を予定)

【会場】本郷キャンパス 工学部3号館2階 GCLラボ

【対象】東京大学女子学生でアプリ開発に関心のある方

(※学年、専攻不問。2日間フル参加できる方)

【参加費】無料

【定員】約20名

【申込方法】こちらの専用応募フォームからお申し込みください。

【応募締め切り】2014年10月25日(金)

【選考通知結果】2014年11月10日(月)

【テーマ】学生生活に必要なアプリ開発

【当日の持ち物】開発に使用するPC

(PCが用意できない場合は事務局にご相談ください)

### ■協力企業

givery

### ■協賛企業

Google, LINE, RECRUIT, amazon, CyberAgent, pixiv

◆2014/11/15-16: OECD 学生閣僚理事会：参加者募集中  
(10/10 締切)

会 期：2014年11月15日(土)～16(日)

場 所：東京大学 本郷キャンパス

工学部2号館1F213講義室

※GCLは本事業に共催しています。

※本イベントのお問合せ先

OECD Student Ambassador 東京大学チーム

oecdsaut@gmail.com



編集・発行：

情報理工学系研究科・GCL 広報企画

(森 友亮 (情報理工 D1)、荒川 拓 (学際情報学府 M2)、金子和正 (工 B4)、柴山翔二郎 (工 B4)、曾我遼 (工 B4))

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学工学部 8号館 621号室 GCL 事務局

E-mail : pr\_plan@gcl.i.u-tokyo.ac.jp